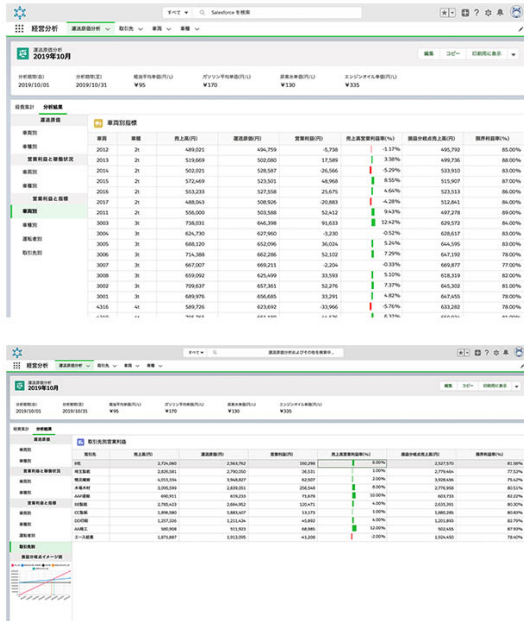


「イージスAPP運送業2」に経営分析機能

Edited By LogisticsToday On 2019/11/18



▲車両別、営業所別にデータを集計し、クラウドで管理する(出所:イージスワン)

トラック運送事業者向け基幹システム「イージスAPP運送業2」を提供しているイージスワン(東京都千代田区)は18日、同システムに「経営分析機能」を追加した、と発表した。

「経営分析機能」は、国土交通省や全日本トラック協会が発表している計算方法に基づき、原価、純利益、損益分岐点などを計算するもので、計算の元になる売上高、走行距離、稼働時間は同システムで自動取得しているため、データ入力の手間を抑えて高精度の計算を行うことができる。

「イージスAPP運送業2」は、配車計画、動態管理、運転日報自動作成、運賃自動計算、請求書自動作成、各種統計などを一括管理できるセールスフォースOEM版のクラウドサービス。パイオニアの「B.PROカーナビ」と「ビークルアシストAPI」を用いて取得した動態情報と業務情報を利し、運転報を自動作成できるほか、運転報のデータを運賃計算システムへ引き渡し、運賃・料金を自動計算することなどが可能となる。



AEGISAPP
UNSOGYO
一般貨物自動車運送事業者向け基幹システム
(特許第4946754号)



配車計画

動態管理

日報作成

運賃計算

請求業務

管理業務

▲AEGISAPP運送業(出所:イージスワン)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/358397>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.